

下市町空き家再生等推進事業（応急措置）補助金交付要綱

（目的）

第1条 この要綱は、下市町の空き家対策の一環として、町民の安全・安心の確保を図るため、空き家の危険な状態を回避するための応急措置等に要する経費の一部に対し、予算の定めるところに従い下市町空き家再生等推進事業（応急措置）補助金（以下「補助金」という。）を交付するために必要な事項を定めることを目的とする。

（定義等）

第2条 この要綱において、応急措置とは、空き家等について地域の住民等に危害を及ぼす等の危険な状態を回避するために必要な措置をいう。

（補助対象建築物）

第3条 補助の対象となる建築物（以下「補助対象建築物」という。）は、次に掲げる要件を全て満たすものとする。

- (1) 下市町内に存すること
- (2) 補助対象建築物に所有権以外（賃借権を含む。）の設定がないこと。ただし、権利者全員から同意を得た場合を除く
- (3) 空き家（建築物又はこれに附属する工作物であって居住その他の使用がされていないことが常態であるものをいう。）であること

（補助対象者）

第4条 補助の対象となる者（以下「補助対象者」という。）は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 補助対象建築物を所有している者又はその相続人であって、補助対象建築物の存する土地の所有者の同意を得た者
- (2) 補助対象建築物の存する土地を所有している者又はその相続人であって、補助対象建築物の所有者の同意を得た者

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者は、補助の対象としない。

- (1) 下市町に納税義務の生じた町税を滞納している者
- (2) 本人又はその世帯構成員が下市町暴力団排除条例の規定により制限されている者

（補助対象事業）

第5条 補助金の交付対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）は、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 補助対象者が行う補助対象建築物の応急措置
- (2) 応急措置を行う施工業者は法人または個人事業者とする
- (3) 補助を申請する年度内に当該事業が完了するもの

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するものは、補助の対象としない。

- (1) 補助対象建築物の存する地域の住民等への報告（補助金の交付申請前及び応急措置後）を行わないもの
- (2) 補助対象建築物が公共事業に伴う補償の対象となるもの
- (3) 第9条に規定する交付決定を受ける前に実施したもの
- (4) 当該事業について他の補助金等の交付を受けようとするもの
- (5) その他町長が補助金の対象として不相当と認めるもの
（補助対象経費）

第6条 補助金の交付対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、補助対象事業に要する経費（消費税及び地方消費税を除く。）のうち、補助対象建築物の応急措置に要する経費とする。

（補助金の額）

第7条 補助金の額は、補助対象経費に3分の1を乗じて得た額とし、10万円を限度とする。ただし、算出された補助金の額に1,000円未満の端数がある場合は、その端数金額を切り捨てる。

（補助金の交付申請）

第8条 補助金の交付を受けようとする者（以下「交付申請者」という。）は、下市町空き家再生等推進事業（応急措置）補助金交付申請書（第1号様式）に次に掲げる書類を添えて、町長に提出しなければならない。

- (1) 補助対象建築物の位置図、現況写真
- (2) 町税の納税証明書
- (3) 補助対象事業の見積書の写し（補助対象工事とそれ以外の工事を明確に分離したものの）
- (4) 補助対象建築物が共有の場合にあつては共有者全員の同意書又は共有者代表による紛争等が生じた場合の確約書
- (5) 補助対象建築物に抵当権その他の所有権以外の権利が設定されている場合にあつては当該権利者の同意書
- (6) 申請者と補助対象建築物の所有者が異なる場合にあつては所有者の同意書
- (7) 申請者と補助対象事業を行う土地の所有者が異なる場合にあつては土地の所有者の同意書
- (8) その他町長が必要と認める書類

（補助金の交付決定等）

第9条 町長は、前条の申請書を受けた場合は、速やかにその内容を審査し、相当と認めるときは、補助金の交付を決定し下市町空き家再生等推進事業（応急措置）補助金交付決定通知書（第2号様式）により交付申請者に通知するものとする。この場合において、町長は、補助金の交付の目的を達成するために必要な条件を付することができる。

2 町長は、前項の審査の結果、補助金を交付しないことを決定したときは、下市町空き家再生等推進事業（応急措置）補助金不交付決定通知書（第3号様式）により交付申請者に通知するものとする。

（事業の変更等）

第10条 補助金の交付の決定を受けた者（以下「交付対象者」という。）は、やむを得ない理由により当該補助対象事業を変更又は廃止しようとするときは、下市町空き家再生等推進事業（応急措置）変更等承認申請書（第4号様式）を町長に提出しなければならない。

2 町長は、前項の申請書を受けた場合は、速やかにその内容を審査し、適当と認めるときは、下市町空き家再生等推進事業（応急措置）変更等承認通知書（第5号様式）により交付決定者に通知するものとする。

3 町長は、前項の審査の結果、不相当と認めるときは、下市町空き家再生等推進事業（応急措置）変更等不承認通知書（第6号様式）により交付申請者に通知するものとする。

（実績報告）

第11条 交付対象者は、補助対象事業の完了後、速やかに下市町空き家再生等推進事業（応急措置）実績報告書（第7号様式）に次に掲げる書類を添えて、町長に提出しなければならない。この場合において、町長は、必要に応じて現場で検査を行うことができる。

(1) 補助対象事業の写真（着工前、応急措置後）

(2) 補助対象事業の領収書及び明細書の写し（作成年月日、施工業者の名称、所在地の記載及び押印のあるものに限る。明細書は補助対象工事とそれ以外の工事を明確に分離したもの。）

(3) その他町長が必要と認める書類

（補助金額の確定）

第12条 町長は、前条の実績報告書を受理したときは、当該受理した日から14日以内に完了検査を実施し、適正であると認めたときは下市町空き家再生等推進事業（応急措置）補助金確定通知書（様式第8号）により交付対象者に通知するものとする。

（補助金の請求）

第13条 交付対象者は、前条の通知を受けたときは、下市町空き家再生等推進事業（応急措置）補助金交付請求書（第9号様式）を町長に提出しなければならない。

2 町長は、前項の請求書の提出があったときは、速やかに補助金を交付するものとする。

（報告）

第14条 町長は、補助金の交付の目的を達するために、必要があると認めるときは、交付対象者に対し、その補助対象事業の実施について報告を求め、又は必要な指示を行うことができる。

（補助金の返還命令等）

第15条 町長は、交付対象者が次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、補助

金の交付の決定の全部又は一部を取り消し、既に補助金が交付されているときは、補助金の全部又は一部の返還を命じることができる。

- (1) 前条の指示に従わなかったとき又は第11条の検査を拒み、忌避し、若しくは妨げたとき。
 - (2) 偽りその他不正な手段により補助金の交付決定又は交付を受けたとき。
 - (3) 補助金の交付決定の内容、これに付した条件、法令又はこの要綱に違反したとき。
- (その他)

第16条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

(施行期日)

附 則

この要綱は、令和2年 4月 1日から施行する。